

WROJapan2009

オープン部門ルール

変更部分は赤字で示してあります。

概要

オープン部門は、科学技術的アプローチで、テーマについての考え、研究、解決策、提案といった内容を表現します。ロボットを使って表現を製作し発表します。

テーマ

「アーティストロボット」

芸術は、人々に感動を与え、ともに喜びや希望を創出します。科学技術の集合体であるロボットと芸術の融合が、より豊かな社会へのアプローチとなるでしょう。

共通

- 1) WROJapan2009 決勝大会のレギュラー部門の参加チームは、WRO Japan2009 オープン部門に参加できない。
- 2) 選手の年齢ごとに各部門に参加すること。
- 3) 各部門の選手の参加資格**(追加)** (国際大会の参加については国際大会のルールに準じます)

小学生部門： 1997.1.1 以降に生まれた小学生

中学生部門： 1994.1.1 から 1996.12.31 に生まれた中学生

高校生部門： 1990.1.1 から 1993.12.31 に生まれた高校生

(変更)

小学生部門： 1997.1.1 以降に生まれた小学生

中学生部門： 1994.1.1 以降に生まれた中学生

高校生部門： 1990.1.1 以降に生まれた高校生

各部門は日本国内の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校の該当学年に在籍していること。高等専門学校の場合、第3学年までとします。これら以外の学校に在籍する方が参加希望の場合は、事前に WRO Japan 実行委員会までお問い合わせ下さい。

(追加) なお、WRO Japan 大会にて WRO 国際大会参加チームに選抜された場合、日本代表チームとして同年 11 月開催の WRO 国際大会に参加すること。WRO 国際大会への参加選手は、WRO 国際大会の参加資格に該当すること。

4) チーム構成

参加はチーム単位とする。

チームは 1 名のコーチと、2 名または 3 名の選手で構成されていること。コーチは成人であること。

5) 引率者としてのコーチ

コーチは、選手の引率者として選手の行動に責任を持つこと。

発表

1. 機材

1) ロボット、ソフトウェア

教育用LEGO Mindstorms RCX または NXTの制御部(CPU内蔵部品)を最低1つ利用すること。

以外の機材について禁止事項を除き制限はない。

ロボットは自律型であることを推奨する。動かすためのプログラミング言語、ソフトウェアに規制はない。

2) 全ての機材は参加チームにて準備すること。

2. 発表の規格

展示ブースでの発表に対応できるものであること。

展示ブースのサイズは、2,000mm × 2,000mm × 2,000mm。

展示ブース内には机(幅1,800mm × 奥行き450mm × 高さ750mm)があり、この机を利用してもよい。

展示ブース内には、最低1,200mm × 900mmのサイズの、制作内容説明等のポスターを1枚以上ブースに貼ること。

3. 発表と審査

1) 全体の流れ

. 予選: 資料とビデオ審査

発表内容をまとめた資料と発表内容を記録したビデオデータにより、内容審査する。

この審査結果にて WRO Japan 2009 決勝大会参加チームを選抜する。

. 決勝: 科学技術館での展示とプレゼンテーション

上記 . で選抜された WRO Japan 2009 決勝大会参加チームは、WRO Japan 2009 決勝大会(科学技術館)にて、ブース展示と審査員へのプレゼンテーションを行う。

. 決勝での表彰と国際大会選抜

予選での資料、ビデオデータと WRO Japan 決勝大会でのブース展示と審査員へのプレゼンテーションを総合的に審査し、優秀チームの表彰ならびに WRO 2009 国際大会参加チームを選抜する。

2) 予選:

発表内容を記録したビデオデータと、発表内容をまとめた資料(A4版1枚~2枚)により、その内容を審査します。

. 発表内容をわかりやすく資料にまとめてください。

. ロボットを使った製作展示をプレゼンテーションした内容をビデオに撮影してください。

プレゼンテーションは、参加チームの選手が行ってください。

プレゼンテーションは、日本語で行ってください。

プレゼンテーションの制限時間は2分間です。

. 資料、ビデオデータは、後日指定される形式、方法によって、WRO Japan 事務局に電子データで提出してください。

. 資料とビデオデータの内容を審査員が審査します。審査の結果、WRO Japan 2009 決勝大会チームを選抜します。

3) 決勝

予選から選抜されたチームは、WRO Japan2009 決勝大会の会場内にて、製作内容のブース展示と審査員へのプレゼンテーションを行います。

プレゼンテーションの時間は最大 10 分間、5 分でロボットの説明とデモンストレーションをして下さい。審査員による質疑応答が最大 5 分間とします。

4) 決勝での表彰と国際大会選抜

予選での資料、ビデオデータと WRO Japan 決勝大会でのブース展示と審査員へのプレゼンテーションを総合的に審査し、優秀チームの表彰ならびに WRO2009 国際大会参加チームを選抜します。

審査のポイントは以下です。

- A. テーマとの合致
- B. 表現の創造性
- C. 製作技術的内容
- D. プレゼンテーションの方法、内容、およびチームワーク力

4. 禁止事項

- 1) 火気使用および爆発の危険性があるものは使用禁止。
- 2) 異臭発生するもの、人体および施設に害をおよぼすような材料、大音響を発生するものは使用厳禁。
- 3) その他、発表者、見学者に危険をもたらす道具、材料の使用禁止。
(例:ドリル,注射針 等)
- 4) 水の使用は可とするが、絶対に施設を濡らさない対応とすること。
- 5) 公序良俗に反する内容、表現は禁止。

5. 著作権

提出された資料、ビデオデータの著作権は、参加チームが保持するとともに、WRO Japan 2009 実行委員会、NPO 法人 WRO Japan が保持します。

なお、他者の著作物を製作内容に利用する場合には、その内容を資料内に明記する必要があります。

以上